

白木谷小学校が創立百周年

幼稚園も二十五年に

紅葉の時期をすぎ、晩秋の寒気が肌にしみる南州市北部の白木谷で、十一月二十二日小学校の百周年、幼稚園の二十五周年の記念式典が、地区をつつむ澄んだ空気に

も似て清らに行われました。式には小学校児童三十八名、幼稚園児二十六名のほか、卒業生や歴代の教職員、教育関係者など約百六十人が出席。風は強いもの

まず絶好の式典日和の中で、それ

ぞれの思い出を語りあう光景があちこちで見られました。

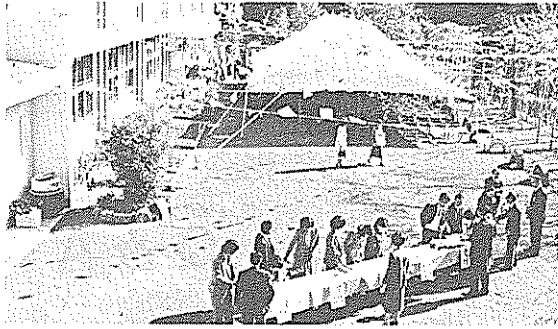
午前十一時、テントが張られた

前庭で園児、児童の園歌、校歌斉唱、物故者への黙とう、百周年記念碑の除幕、式典までの経過報告などが行われましたが、この日の圧巻は、児童代表あいさつで「百年に一度の式に参加できたことを誇りに思いこれからもがんばって

いきますので、私たちを見守ってください。残念なことに私たち三十八名の全校生徒が集まる講堂や

体育館がなく、雨の日の運動には特に困っています。大人のみならず、体育館を建ててください」と体育館をもつ他地区の例も出している注文でした。

大人のなかには、涙を流す方もいて、次の目標が「体育館建築」



100周年をむかえた白木谷小学校

全校生徒が

物部川をそろう

大湊小学校

秋晴れの十一月十七日、ぼくたちの遊び場物部川をいつまでもきれいに」と、大湊小学校(川端宗喜校長)の全校生徒が物部川河口の一斉そろうをしました。

午後一時、校庭に集まった子どもたちは各学年ごと列になって、河口までの元気な行進が続きます。隣では、滑走路のり土を運ぶダンブカーがひっきりなしに通

約三十分で河口に着いた子ども

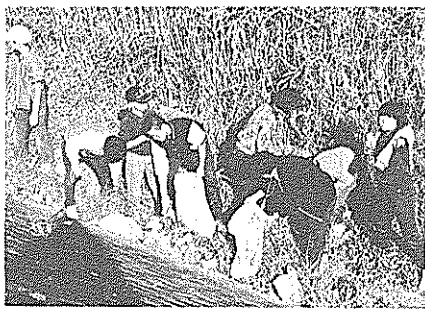
たちは担任の先生から分担場所を聞いて、ゴミ袋をもらってさっそく作業開始。

お友だちと仲よく拾う子、ゴミ袋を重そうに運ぶ子、一生けんめい一人で黙々とゴミを拾う子、少しなまけた子も。海と空の真青な中で、はしゃぎながらの作業でしたがトラックに一台分のゴミが集まりました。ご苦労さまでした。

であることを確認した感がありました。垣内校長は「こんなに多くのみなさんと祝ってくれてうれしい。ここはヘキ地ではないが、小規模校としてそれなりにがんばります」と感動のあいさつ、万歳三唱、園児、児童の風船あげで式を終えました。

ここは幼稚園と小学校が隣り合せて、絶好の教育環境。あたたかい諸先輩に見守られて、無限の可能性を伸ばしてやらなければ……参加した大人たちは、子供たちの澄んだ目からそんなことを感じとったようでした。「郷愁」を感じさせるさわやかな式典でした。

ぼくらの町は、ぼくらの手でいつまでもきれいに!



空カンなどを拾う子どもたち



ご家庭で話し合って答えてください。答えは、この広報に出ています。

●もんだい・十一月二十二日、

○小学校は創立百周年をむかえ記念式典が行われました。

■しめきり・12月15日

■おくり先・〒783 南州市大湊甲三三〇一 南州市役所内

広報委員会親子クイズ係

■答えのハガキには必ず、住所氏名・年齢・職業を書いてください。

■賞品・特賞千円〓三人、残念賞(記念品)〓五人

第12回正解者発表(敬称略)

(応募総数58通)

■こたえ・〓百〓十〓五人

■特賞・千円〓三人

■田内哲也(片山)

■岡智恵(天埜)

■島崎はるみ(岡豊町)

■残念賞・記念品〓五人

■竹内寿美子(重改田) 島村由美子(片山) 浜出政喜(明見) 竹

村幸子(植田) 西原寿子(領石)